

I 学校・職員の概要

1 開校 明治34年1月1日 旧七師団私設教育所として解説, 本年度で116年目

2 学級編成 (平成30年5月1日現在)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | やまびこ (知的) | たんぼぼ (肢体) | なかよし (情緒) | ひまわり (病弱) | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| 児童数 | 71 | 42 | 56 | 44 | 61 | 64 | 8 | 1 | 13 | 1 | 361 |
| 学級数 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 18 |

3 職員

校長 上西信昭 (平成30年4月1日着任)

職員数 39名

II 北鎮小の教育

1 本校教育の課題

(1) 116年の歴史と伝統を引き継ぐ教育を推進する。

本校は、校章が示すように「太陽のような情熱をもって、永遠にゆるぎない真理を求めること」を教育理念としている。

私たちは、開校以来の不変の教育理念を継承していく責務がある。その中で、本校の教育目標を踏まえ、全教職員の共通理解によって具体像を明確化していく。

(2) 夢や希望をもって、たくましく生きる子どもを育成する。

変化の激しいグローバル化の進む社会において、学校は夢や希望をもって、たくましく生きる子どもを育てていくことが強く求められている。それは、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に集約される。「生きる力」の育成は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成である。そのために、手立てを工夫して精力的に教育活動を展開していく。

(3) 地域や学校の特色（実態・課題）を踏まえた教育活動を工夫する。

本校の校地内に子ども達が憩う北鎮の杜（公園）がある。また、近くには春光園や春光台公園があり、自然環境に恵まれた学校である。さらに、彫刻美術館や井上靖文学館等の文化施設にも恵まれている。これらの教育環境を活用した教育活動を展開することにより、地域のよさに気付いたり、地域住民と交流を深めたり、地域に誇りをもてるようになることが期待されている。

また、保護者地域の方々には、教育に関心が高く協力的である。家庭や地域との連携を深め、それぞれの教育力を活用した教育活動を一層推進していく必要がある。

一方、保護者の職業上、全国や全道的規模で児童の転出入がある。そのため、学力水準の維持向上は重要な課題である。子ども一人一人の学習意欲を喚起し、様々な活動を通して確かな学力の育成を図ることが求められる。

2 本校の教育目標

・よく考え 力いっぱいやりぬく子 (知)

《価値項目》 思考力 判断力 想像力 表現力 実践力 探究心
直感力 積極性 自主性 等

・仲良く助け合い 心豊かな子 (情)

《価値項目》 優しさ 思いやり 礼儀 節度 誠実 素直さ
豊かな情操 協調性 生命尊重 尊敬感謝 等

・きまりを守り 責任を重んずる子 (意)

《価値項目》 責任感 根気強さ 自律心 公德心 公正
規則尊重 節度節制 勇気 等

・身体をきたえ 生命を大切にする子 (体)

《価値項目》 意思力 自主性 意欲 継続力 健康安全 体力向上
生命尊重 誠実明朗 等

3 めざす子どもの姿

よく考え 力いっぱいやりぬく子 (知)

- ◎進んで学習する子
- 自分の思いや考えを自分なりに表現できる子
- しっかり聞き、考えを練り合える子
- 正しく判断できる子

仲良く助け合い 心豊かな子 (情)

- ◎場に応じた挨拶が進んでできる礼儀正しい子
- 素直で明るい子
- 友達と力を合わせ、助け合える子
- 思いやりのある子

きまりを守り 責任を重んずる子 (意)

- ◎目的意識をもって、進んで取り組む子
- きまりや約束を守る子
- 責任をもってやり遂げる子
- 粘り強く、最後まで挑戦する子

身体をきたえ 生命を大切にする子 (体)

- ◎運動に親しみ、進んで運動する子
- 強い意志をもち、身体を鍛える子
- 自他の安全に気をつけて活動する子
- 友達と協力し合って運動する子

4 学校経営の基本方針

『子ども一人一人を大切にし、子どもの成長が見える学校経営の推進』

(1) 教育動向や学校教育目標・年度の重点目標の実現を大切に教育課程の充実を図る

《教育課程の充実》

子ども一人一人を大切にするとともに子どもの成長を見つめながら、学校教育目標と年度の重点目標の実現を目指すために、教育課程の充実を図る。本校の教育目標は、全職員、児童、保護者並びに地域社会の人々が築き上げてきた北鎮小学校の校風と伝統を更に凝縮したものである。今日的な教育情勢を見つめながら、教育課程の充実に努める。

- ①「社会に開かれた教育課程」の考えに基づき、今日的な教育理念、旭川市の教育重点を踏まえるとともに、地域の教育資源を有効に活用し、地域に根ざした将来に生きて働く魅力ある教育活動を展開する。
- ②小学校生活6年間、幼保・小中連携も視野に入れ、発達課題に即した教育課程の編成に努める。
- ③常に学校教育目標につながる一時間一時間の授業となるよう、授業内容や指導方法を吟味し、学年相応に身に付ける力を定着させる。
- ④目の前の児童の実態把握を職員全体で共有し、学校全体で教育内容や指導方法の改善に努める。

(2) 「北鎮小の子どものために」を中心に据え、職員全体で愛情をもって子どもを育てる学校を目指す

《組織運営の充実》

人間相互の協力はすばらしく尊いものである。教職員それぞれの力を一つに結び、充実した学校を創り出すことを目指したい。「教育は人なり」との考えに立ち、信頼と愛情を大切にしながら子どもたちを育てる環境を創り出す。

- ①全教職員が互いの力を認め合い、支え合うこと。
- ②組織を通して仕事が進められ、各組織が創意と意欲、そして責任ある教育活動をする事。
- ③特に研修の場では、全員が参加し、熱心に意見を述べ合い、協議できること。
- ④経営方針のもと誰でも計画したものを提案し、実施するなど経営参画意識をもてること。

(3) 教育の新しい方向を確認し合い、教職員が互いに学びあう学校を目指す

《専門性の向上》

全教職員でこれからの教育が目指す方向を探りつつ、主体的に北鎮小学校教育の向上を図っていく。意欲もてる授業、成就感を体感する授業、豊かな心が育つ教育、生きる力を育む教育など、目指す方向を確認し合い、実践を通して実現していく。

- ①教育の場でつかんだ事実を明確にし、その成果を記録し集積しておくこと。
- ②得た情報などは、各種会議等で共有し合う習慣をつくること。
- ③それらを、校内研修において活用し、教育内容の充実を図ること。
- ④教師は進んで授業を見せ合い、それらを基に協議し研修を盛んにすること。

(4) 地域社会と連携し、信頼される学校づくりを目指す

《家庭・地域・関係機関との連携強化》

子どもの教育は、学校内だけでは不十分である。家庭・地域社会・関係諸機関とのコミュニケーションを密にして、相互理解を深め、協力体制を築く必要がある。教師も地域住民の一員としての意識を大切にしたい。

- ①家庭や地域住民に本校の教育方針や教育活動を示しながら、相互理解や協力体制の構築を図る。
- ②接続校や各関係機関との連携を大切にしながら、効果的な指導を推進する。

5 本年度の重点目標

学びの基盤を大切に、自ら考え高め合う子の育成

(キーワード1)

(キーワード2)

キーワード1 《学びの基盤》について

学校評価の児童アンケートでは、学習規律や校内生活のきまりを集約した「北鎮小のよい子の約束」を意識して生活する姿が徐々に広がってきている。また、日常の姿からも、その定着が感じられてきているが、更なる継続した指導により児童の意識化を高めていきたい。

その際、指導の不連続により身に付いている学年、そうでない学年といったバラツキがなく、学年が上がるにつれ、意識も高まり定着する姿になるよう全校一枚岩で、全職員で、あらゆる場で声かけをしていくことが大切である。

また、学びの基盤の充実として、「北鎮小のよい子の約束」の定着とともに、学びやすい環境づくり、「早寝早起き朝ごはん」といった生活リズムの働きかけ、家庭や地域、接続校、各専門機関などとの連携強化も含めて、その充実にあたる。

キーワード2 《自ら考え高め合う子》について

「学びの基盤」とともに大切にしていきたい視点として「自ら考え 高め合う子」である。目の前の子どもたちが、社会で活躍する近い将来、変革の激しい不確実性の社会が予見されている。

自己を見失わず自己実現を果たしていく子どもたちに求められる資質は、自ら主体的に考える力、協働で学び合いより良いものを生み出し行動できる力である。

「主体的・対話的で深い学び」という授業改善の視点が登場した背景は、この資質を教室の日々の授業から育てるためである。今期改訂の肝は、これらの背景のねらいが各教室まで届くか否かであるとさえ言われている。

このような教育の動向のもと、今一度学びの基盤をより定着させるとともに、子どもたちに自ら考える場、互いに学び深める場、高め合う場を大切にしていこうとし『学びの基盤を大切に、自ら考え高め合う子どもの育成』と設定した。

6 重点目標から見た目指す子どもの姿

(知) ~ 自ら考え 学び合う子

(徳) ~ 相手を考え 行動できる子

(体) ~ 健康と安全を考え 行動できる子

7 学校経営の重点

(1) 組織

①教職員の経験と特性を踏まえた校務分掌を組織し、経営参画意識の高揚と教育目標を達成する指導体制の充実

- ・分掌や特別委員会、学年等の組織による協働体制の充実
- ・OJTにおけるメンター機能の発揮

(2) 教育課程

①地域の教育的資源を積極的に生かした特色ある教育活動の充実

- ・自然，施設，人材，文化，伝統など地域の特色ある教育活動の充実
- ②「主体的・対話的で深い学び」に基づく授業改善
 - ・目標や学習の見通し大切に自ら考える場，互いに深め合う場を重視した授業改善
- ③確かな学力への取組
 - ・書く・話す・読む等の言語活動の充実
 - ・わかる喜びをもたせるサポート学習の充実
(放課後学習，学期末サポート学習，長期休業学習会，家庭学習支援等)
- ④P D C Aを生かしながら教育活動の充実（自己評価やアンケートの学校評価）

(3) 環 境

- ①学びやすい環境づくりと潤いのある環境づくりの推進
 - ・校内掲示の充実～児童の作品や写真，学校のアピール，委員会活動，P T A活動など
 - ・職員室及び机上の整理整頓，多目的室や空き教室の整理整頓
 - ・古い校舎でも行き届いた清掃活動と後かたづけの徹底
 - ・校内外の整備と充実～花壇，農業学習畑，プランターなど
- ②安全な施設環境への取組（定期点検や日常の気づき）

(4) 研 修

- ①研究主題に基づき授業を中心に据えた研修活動の充実
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の授業の創造
 - ・研究授業を核とした研修推進による子どもの変容と授業力の向上
 - ・研修推進内容の日常実践化
- ②校外研修への参加や環流
 - ・研究授業や講習会，研究会への計画的な参加
 - ・研究会参加後の環流の工夫

(5) 地域連携

- ①家庭・地域・学校の教育力を生かした開かれた学校づくりの推進～連携と融合
 - ・幼保・小中連携の促進（参観日，授業研究，学校行事，学習面生徒指導面の交流等）
 - ・スポーツ少年団活動やボランティア活動，地域団体，地域行事への支援と参加
 - ・学校から地域への情報発信（学校だより，学年・学級通信，学校評価など）
 - ・教育活動の公開（参観日，地域公開参観日，学校行事等）
 - ・S C，S S W，民生児童委員，児童相談所，特別支援センターや医療機関等の連携
 - ・学習サポート体制の充実

(6) 学年・学級経営

- ①学校教育目標や年度の重点目標の具現化を目指し，児童の実態を踏まえた経営の推進
 - ・学びの基盤の定着（基本的な生活習慣，学習のきまり，教室掲示）
 - ・教室における読書環境の整備と読書の奨励
 - ・支持的風土を基盤とした自己肯定感・自己有用感のもてる学級集団づくり
 - ・変化と潤いのある清潔感のある教室設営の工夫
 - ・学級情報の提供と家庭との相互連絡の強化

(7) 財政・事務

- ①教育計画の具体化に向けた適正な財政運営と円滑な文書・備品管理の推進と充実
 - ・教育環境整備の充実（学校備品の把握と管理等）
 - ・学校私費会計（PTA費，学年・学級費，修学旅行費等）の適切な管理
 - ・情報化社会の中での関係書類の適切な保管と運営
 - ・学校予算の計画的な配当と運用

(8) 危機管理

- ①危機管理意識の高揚と教育公務員としての資質保持
 - ・「ほうれんそう」の徹底による危機回避，迅速対応，再発防止
 - ・コンプライアンス（法令遵守）の徹底
 - ・予測される事故やトラブルに対する共通理解と危機管理の充実
 - ・地域・関係機関との連携を重視した危機管理体制の充実

8 指導の重点

(1) 学 習 指 導 《学ぶ意欲と達成感をもたせ，学び方を育む学習指導の充実》

- ①学ぶ意欲と基礎・基本の定着
 - ・学びの環境づくりの充実（学習規律，ノートのととり方，掲示物，整頓された環境等）
 - ・言語活動の充実
 - ・本時目標を明確に意識させた問題解決的な学習や体験的な学習を重視
- ②学力向上プランの推進や個に応じた指導の充実
 - ・TT，少人数学習など個に応じた指導によるわかる喜びをもたせる指導の充実
 - ・チャレンジテストの活用，各種学力テストの活用（実態の把握と方策）
 - ・サポート学習の充実（放課後学習，学期末サポート，長期休業中学習会，家庭学習支援等）
- ③指導計画や指導法の改善に結びつく評価の工夫
 - ・指導と評価の一体化
 - ・自己評価や相互評価の工夫

(2) 道 徳 指 導 《よりよい生き方を学ぶ指導の充実》

- ①「道徳の時間」の指導の充実
 - ・「生きる力」（教科書）を軸にした「道徳の時間」の指導の充実
 - ・児童の興味や関心・実態に応じた資料や副読本，人材の活用
 - ・保護者参観日における道徳授業の実施
- ②豊かな体験を通じた道徳的实践を促す指導の工夫
 - ・奉仕活動の交流学习，自然体験活動，福祉活動，人材活用など，人間や自然に対する愛情や思いやりの心など豊かな心の育成

(3) 特別活動 《各教科・道徳・総合的な学習の時間との関連を図り，望ましい人間関係の育成》

- ①地域の環境や人材などを生かし，家庭や地域との連携を図った指導の充実
 - ・活動のねらいや意義を大切にし，育てたい態度を明確にした取り組み
- ②各内容の特質に応じた指導の充実
 - ・心の成長を促す異学年交流の実施

- ・全職員の協力による多様な集団活動を工夫し、望ましい人間関係を培う指導の充実
 - ・児童が主役になり意欲的に参加する学校行事等の工夫
 - ③児童のよさや可能性を共感的にとらえ、活動意欲を高める工夫
 - ・児童の活動状況の収集と情報交換
- (4) 総合的な学習の時間《生き方を育て、生き方について学ぶ総合的な学習の充実》
- ①児童や地域の実態を踏まえ、育てたい力を明確にした指導計画の充実
 - ・地域施設や人材活用による効果的な指導の充実
 - ②自ら課題を見つけ学習活動の内容や方法を決定するなど、達成感のある学習展開の工夫
 - ・課題設定、追求場面の自己選択、見通しと意欲をもたせる支援
 - ③育てたい力の育ちを見取る評価の工夫
 - ・児童の継続的な評価の累積
- (5) 外国語・外国語活動の充実《コミュニケーション能力向上、国際理解の充実》
- ①積極的にコミュニケーションを図る指導の充実
 - ・ALTとの連携による指導力の向上
 - ②言語や文化の違いを体験的に理解する指導の充実
 - ・自国や外国文化の理解や尊重を高める学習展開の工夫
- (6) 生徒指導《自ら律する心を育てる生徒指導の充実》
- ①児童の実態や状況の共通把握による協働・指導体制の確立
 - ・教育相談や生徒指導事例報告を通して児童の悩みや問題の早期発見と指導
 - ・不登校及び登校しぶり児童への支援体制の充実（関連機関との連携）
 - ・家庭や地域、関係機関と連携した指導体制の充実
 - ・いじめの早期発見と指導（いじめ防止基本方針等）
 - ②基本的生活習慣や行動様式の定着
 - ・学びの基盤を大切に校内生活の向上（挨拶の励行 廊下歩行等の指導等）
 - ・家庭や地域と連携した指導
 - ③共感的理解に基づく児童理解と個に応じた指導・支援
 - ④地域行事への積極的な参加の奨励
- (7) キャリア教育《よりよい生き方を目指すキャリア教育の充実》
- ①発達段階に応じた指導計画の充実
 - ・教職員の共通理解を図り、全教育活動を見通した全体計画と年間指導計画
 - ②望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実
 - ・学級活動や児童会活動において、自らの役割や責任を果たし、集団での自己を生かす指導の充実
 - ・社会体験や調査・見学等の活動を通して、夢や希望を育む指導の充実
 - ・自らのよさや周囲の人々の多用な生き方に気づく指導の充実
 - ③自己の夢や成長を紡ぐキャリアファイルの活用
- (8) 健康安全・体育指導《生命尊重、健やかな心身を育てる体育・健康安全指導の充実》
- ①運動の楽しさとともに、日常体育や体力向上推進プランによる運動体力面の向上
 - ・日常体育での縄跳び、ランニングの導入、持久走大会に向けた取組、スポーツテストの実施

- ②自らの健康安全に関する意識や態度を育成する指導の充実
 - ・薬物や電子機器の長時間使用の弊害など自らの健康安全への意識を高める指導の充実
 - ・性に関する指導を充実させ、学年の発達段階に即した健康に関する指導の充実
 - ・生活リズムのチェックの継続
 - ・学年の発達段階における望ましい食育指導や給食指導の充実
- ③家庭や地域と連携した健康・安全指導体制の確立
 - ・「早ね早おき朝ごはん」運動の推進
 - ・交通安全意識の高揚や災害対策指導の充実
 - ・災害や事件・事故、薬物乱用に対する危機管理意識の持続と安全点検の実施
 - ・通学路の点検と児童の安全確保～安全マップの活用・点検，巡回指導

(9) 特別支援教育《一人一人の発達を促す特別支援教育の充実》

- ①指導計画の作成と指導体制の確立
 - ・生徒指導事例会をはじめとする児童の共通理解と，全校的な指導体制の確立と推進
 - ・個別の指導計画の充実
- ②個の特性や合理的配慮に基づく指導の充実
 - ・特性に応じた教材教具の開発や指導の工夫
 - ・交流学級の児童や地域の人々とのふれあい活動の推進
- ③市特別支援教育連携協議会をはじめ関係機関との連携による適正な就学指導の充実
 - ・関係機関との連携とともに児童の実態把握と必要な支援内容の明確化

(10) その他

- ①読書活動の推進と図書室の有効活用
- ②ICT機器の効果的な活用
- ③メディアリテラシー教育の推進

9 学年経営の重点

「子どものよさが活かされ，心の居場所のある学年学級づくり」

- (1) 重点目標の具現化を図る学年・学級経営
 - ・重点目標を踏まえた創意ある学年学級経営案の作成
 - ・年間指導計画表の作成と活用
 - ・学年学級経営の定期的な評価，改善，充実
 - ・よりよい学級の生活を創りだす係活動
 - ・「朝の会，帰りの会」の工夫と充実
 - ・歌，遊びの効果的な活用と日常化
- (2) 教育相談の充実による個への支援
 - ・個を鍛えるきめ細かな日常実践と記録の累積
 - ・意図的，計画的な教育相談の推進
 - ・道徳的実践力を育む指導の充実～いじめ防止運動の推進
- (3) 夢や希望がみなぎる，心が和む教室環境
 - ・整理整とん，清掃が行き届いた気持ちのよい教室
 - ・子どもの夢や願いが表出した教室

- ・自主的な活動を促し，活動の場が保障された学級
- ・認め合い，支え合う人間関係の構築
- (4) 教師や保護者・地域に開かれた学級の推進
 - ・きめ細かな家庭との連携（家庭学習や生活習慣）
 - ・学年学級PTA活動への支援
 - ・子どもの成長が垣間見える学年・学級通信の発行

10 学年目標の指標

◎よく考え 力いっぱいやりぬく子【知】

☆表現力，思考力，主体的行動力の向上

【低学年】

- しっかり聞き，はっきり発表できる。
- 話している人を見て，聞くことができる。
- 気づいたことや思ったことを，絵や文字で書くことができる。
- みんなに聞こえるように，はっきり話すことができる。
- 学習の準備や後始末ができる。

【中学年】

- 自分の考えをもち，分かりやすく発表できる。
- 考えを比べながらうなずいて聞くことができる。
- 自分の考えを箇条書きで書くことができる。
- 理由をつけて，わかりやすく話すことができる。
- 課題解決の方法について話し合い，進んで学習することができる。

【高学年】

- 自分の考えを深め，他と比べながら発表できる。
 - 必要に応じてメモをとりながら聞くことができる。
 - 自分の考えを工夫して書くことができる。
 - 自分なりに工夫して，わかりやすく発表することができる。
 - 課題解決の方法について話し合い，自分たちで学習を進めることができる。
- 《しっかりと聞く態度》《考えや思いの表現》

◎仲良く助け合い 心豊かな子(情)

☆集団との関わりの中で自他を大切に作る心の育成

【低学年】

- 明るい心で仲良く，助け合える。
- 友達のよいところを見つけることができる。
- 自分勝手なことをしないで友達のことを考えることができる。
- 自然に親しみ，生き物に優しい心で接することができる。

【中学年】

- 友達と力を合わせ，助け合える。
- 友達のよさを生かし，協力して取り組むことができる。
- 友達の気持ちをくんで行動する。
- 進んで生き物の世話をし，自ら育てることができる。

【高学年】

- 友達をよく知り、いたわり励ましあえる。
- よさを出し合って、よりよい活動を生み出すことができる。
- 互いに理解し、人の意見を受け入れるなど信頼を基盤に行動することができる。
- 環境を守り、大切に活動を進んで取り組む。
《心のこもったあいさつ》《場に応じた言葉遣い》《進んで清掃》

◎きまりを守り 責任を重んずる子(意)

☆きまりを尊重し、自律心を高める

【低学年】

- よいと思うことは進んで行い、最後までがんばることができる。
- 自分でやらなければならないことは、しっかりと行うことができる。
- みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守って生活することができる。

【中学年】

- 自分の目標を大切に、自分の考えで進んで行動することができる。
- 自分の仕事をきちんと行い、後片付けまでしっかりとできる。
- 学校や社会のきまりを守り、他の人に迷惑をかけないようにすることができる。

【高学年】

- 自分の立てた目標や計画を、最後まで粘り強くやり通すことができる。
- 委員会や係の仕事などを自覚と責任をもって実行することができる。
- 公共物を大切に、みんなのために役立とうと努力することができる。
《正しい廊下歩行》《名札の着用》《物を大事に》《時間を守る》
《特別教室、多目的室の正しい利用》

◎身体をきたえ 生命を大切にする子(体)

☆進んで体をきたえ、健康安全への実践力を高める

【低学年】

- 誰とでも仲よく遊び、運動することができる。
- 生命の尊さ、大切さに気づくことができる。
- 健康で安全な生活習慣を身につけることができる。

【中学年】

- 楽しく元気に運動し、体をきたえることができる。
- 生命のあるものを大切にすることができる。
- 健康や安全に心がけて生活することができる。

【高学年】

- 進んで運動し、体をきたえることができる。
- 自他の生命を大切にすることができる。
- 自ら進んで健康で安全な生活を実践することができる。
《健康・安全の行動の日常化》《自らの健康に関心をもつ》